



校報

ふたつの子

◇みんな仲良し 夢ある子ども
ふさふさと天好き、ふれ合いまえる子
たのしく学び、考えを子
つよ心で、やさしい子
いつもすこやか、元気な子

発行責任者
二ツ井小学校
校長 安部芳幸

よりよい授業をめざして先生たちもがんばっています！ 授業を見合って授業力アップ！



～秋田の探究型授業を確認しました～

秋田の探究型授業とは…

探究型授業とは、自らが問い、自ら解決する力を育成するための授業です。秋田県の学校教育が半世紀かけてたどり着いた授業方法で、秋田県内の小・中学校の先生全員が取り組んでいます。



①学習の見通しをもつ
学習課題を子どもたちと一緒についたり、問題を解く方法を考えたり答えを予想したりします。



②自分の考えをもつ
今まで習った方法を使ったり、調べたりしながら、ノートやタブレットに自分の考えをまとめます。



③集団で話し合う
自分の考えをペアやグループ、全体で発表し合い、よりよい答えになるよう話し合います。



④学習内容や方法を振り返る
友だちのよい考えや自分のがんばりを振り返り、次回の学習への意欲付けを図ります。

5月31日(火)の2校時、5年1組の授業を先生たちで参観しました。今年度、本校で取り組む授業の進め方について確認するため「授業を見合う会」です。担任の上野由紀子先生と中川久士先生のTT(2人の先生が1つの学級で教える)による授業で、秋田の探究型授業の流れで進められました。5年生は積極的に授業に参加し、発表の仕方や授業態度も、参観した先生たちの参考になりました。授業の終盤では夕



5月30日(月)、グラウンド脇の田んぼで、地域の方々から協力していただいたで行いました。田んぼに苗を植えるための「型」をつける、昔懐かしい光景をみることができました。



5年生田植え体験

自分の命は自分で守る

◇◆◇6月 全校集会でのお話◇◆◇

6月の生活目標は「きまりを守って楽しくすごそう」です。「なぜ、きまりを守るの?」と尋ねたところ、3年生の伊藤詩栞さんが「事故やけがにつながるから」と発表してくれました。そこで、子どもたちに2つのことをお願いしました。

1つ目は、やさしい言葉をつかうこと。「自分がされていやなことは、友だちにはしない」ということを伝えました。

2つ目は、廊下歩行。詩栞さんが発表してくれたとおり、事故やけがにつながるので、「廊下を歩くことは当たり前のこと」と伝えました。最後にみんなで「よりよい二ツ井小」をつくっていくことを確認しました。

- きまりを守って楽しくすごそう
- なぜ、きまりを守るの?
- みんなが気持ちよくすごすため
- 1やさしいことば
- つかってますか?
- 2ちくちくことば
- ・わるぐち
- ・「しね」「ころす」

もしも自分が…

2 ろうかはみぎがわをしずかにあるいていますか?

当たり前のこと

みんなで作るみんなでのびる

よりよい二ツ井小

5月26日(木)は、地震を想定した避難訓練、6月2日(木)は、不審者対応訓練を行いました。地震を想定した避難訓練では、保護者の方々にご協力いただき、引き渡し訓練も行いました。万が一の場合に備えて、学校と保護者、関係機関が連携して、子どもたちの命を守っていくことを再確認しました。



10番」の家について説明していただきました。どちらも「自分の命は自分で守る」ための訓練となりました。

先日、なかよし広場にアナグマがやってきました。コンクリートの上で毛繕いをしたり、寝そべったり…リラックスしていました。時々、教室の窓から外をよく観察してみてください。



本校の保護者で、絵本作家のたなかまりこさんから、図書室に絵本を寄贈していただきました。読ませていただきましたが、心がほっこりと温かくなる絵本でした。たくさんの子どもたちに読んでほしいと思います。

妹が生まれた

